

【家庭分野】

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を次のように育成する。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1) 授業の受け方・きまりについて

- ・授業は集中して受ける。
- ・提出物などの期限や時間を守り、忘れ物のないようにする。
- ・期末テストだけでなく、授業に取り組む姿勢や課題に丁寧に取り組み、期限を守って提出することも評価をつける際に重視する。
- ・話し合いやグループ滑動を行うときは、相手を否定せずにお互いを認め合い、様々な意見を取り入れるようにする。

2) 持ち物

- ・筆記用具
- ・教科書『技術・家庭 家庭分野(開隆堂)』
- ・家庭科ファイル
- ・『新技術・家庭科総合資料(正進社)』

※その他必要な持ち物はその都度生徒に連絡します。

3) 定期テストについて

- ・テストの内容としては、主に授業で行ったワークシートやプリント、教科書を中心として出題します。授業中に大切なことを伝えますので、しっかりと聞き、チェックをしておきましょう。
- ・家庭科ファイルには、今までやってきた課題、授業で使ったワークシートやプリントを全てとじてください。あとで習ったことを復習したり、テスト前に振り返ることができます。

・家庭科ファイルは定期テスト後に回収しチェックします。プリントがすべてあるか普段から確認してください。

4) その他

・授業で渡したプリントやワークシート、課題は絶対になくさないようにしましょう。万が一なくしてしまった場合は、もう一度渡すことはできますが、渡したプリントの隅に「再〇(〇の中には渡した回数が入ります)」と記されています。例：2回なくして3枚目をもらう→「再2」

5) 学習内容

【第1学年・家庭分野】 35時間

時間	学習のねらい	単元名・題材名	学習活動・学習内容	チェック
4	家族・家庭生活	自分の成長と家族・家庭生活	① 今の自分とこれまで ② 家庭を支える社会 ③ わたしたちの家庭生活と地域	
3	衣食住の生活	1 目的に応じた衣服の選択	① 衣服で伝わるメッセージ ② 自分らしくコーディネート ③ つなげよう和服の文化 ④ 上手な衣服の選択	
5		2 日常着の手入れと保管	① まかせて衣服の手入れ ② 布の繊維に応じた手入れ ③ めざそう洗濯名人 ④ 補修や収納・保管	
16		3 生活を豊かにするものの製作	① 製作の計画 ② 生活を豊かにする物の製作 ③ 環境に配慮した衣生活	
7		1 住まいのはたらきとこちよさ	① 住まいのはたらき ② 住まいの空間	
		2 安全な住まいで安心な暮らし	① 家庭内事故への備え ② 災害への備え	
		3 持続可能な住生活	① 持続可能な住生活をめざして	

次年度「食生活と自立」「身近な消費生活と環境」を学習します。

1年生のみ、平成29年度版の教科書になります。(2, 3年生は平成20年度版)

【観点別評価】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性等
<p>○衣服の適切な選択ができる。</p> <p>○衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。</p> <p>○布を用いた製作をすることができる。</p> <p>○衣服と社会生活との関わりが分かり、衣服の適切な選択について理解する。</p> <p>○衣服の計画的な活用の必要性が理解できる。</p> <p>○家族と生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。</p>	<p>○実践に結び付けられるような、家族関係をよりよくできる方法を考えることができる。</p> <p>○目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。</p> <p>○布を用いた製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。</p> <p>○家族の安全を考えた住空間について考え工夫する。</p>	<p>○家族とのかかわりや、これからの自分の生活に関心を持つ。</p> <p>○衣服の選択と手入れに関する学習に関心を持つ。</p> <p>○生活を豊かにするものの製作に関心を持って意欲的に取り組む。</p> <p>○災害に対する安全について考え、自分との生活と結び付けて意欲的に取り組む。</p>

【家庭分野】

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を次のように育成する。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1) 授業の受け方・きまりについて

- ・授業は集中して受ける。
- ・提出物などの期限や時間を守り、忘れ物のないようにする。
- ・期末テストだけでなく、授業に取り組む姿勢や課題に丁寧に取り組み、期限を守って提出することも評価をつける際に重視する。
- ・話し合いやグループ滑動を行うときは、相手を否定せずにお互いを認め合い、様々な意見を取り入れるようにする。

2) 持ち物

- ・筆記用具
- ・教科書『技術・家庭 家庭分野(開隆堂)』
- ・家庭科ファイル
- ・『新技術・家庭科総合資料(正進社)』

※その他必要な持ち物はその都度生徒に連絡します。

3) 定期テストについて

- ・テストの内容としては、主に授業で行ったワークシートやプリント、教科書を中心として出題します。授業中に大切なことを伝えますので、しっかりと聞き、チェックをしておきましょう。
- ・家庭科ファイルには、今までやってきた課題、授業で使ったワークシートやプリントを全てとじてください。あとで習ったことを復習したり、テスト前に振り返ることができます。

・家庭科ファイルは期末テスト後に回収しチェックします。プリントがすべてあるか普段から確認してください。

4) その他

・授業で渡したプリントやワークシート、課題は絶対になくさないようにしましょう。万が一なくしてしまった場合は、もう一度渡すことはできますが、渡したプリントの隅に「再〇(〇の中には渡した回数が入ります)」と記されています。例：2回なくして3枚目をもらう→「再2」

5) 学習内容

【第2学年・家庭分野】 35時間

時間	学習のねらい	単元名・題材名	学習活動・学習内容	チェック
5	食生活と自立	1.健康と食生活	① 食事の役割について考える・生活習慣と食事 ② 中学生に必要な栄養 ③ 食品と栄養素 ④ 食事の計画	
5		2.食品の選択と保存	① 食品が食卓にのぼるまで ② 生鮮食品と加工食品 ③ 食品の表示 ④ 食品の選択・購入と保存 ⑤ 食品の安全と情報	
13		3.調理をしよう	① 調理の計画 ② 調理の基本 ③ 肉の調理 ④ 魚の調理 ⑤ 野菜の調理	
3		4.地域の食材と食文化	① 地域の食材と郷土料理 ② 受け継がれる食文化 ③ 食生活と環境とのかかわり	
9	身近な消費生活と環境	1 家庭生活と消費	① 商品購入のプロセス ② 生活情報の活用 ③ 商品の価格 ④ 販売方法と支払方法	
		2 商品の選択と購入	① 消費生活のトラブルを防ごう ② 消費者の権利と責任	

		<p>3 よりよい消費生活のために</p> <p>4 環境に配慮した生活</p>	<p>③ 消費者を支えるしくみ</p> <p>・自分の生活が環境に与える影響を考え、環境に配慮した消費生活を工夫することができる。</p>	
--	--	--	---	--

前年度「衣生活と自立」「住生活と自立」を学習しました。

【観点別評価】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性等
<p>○食品の品質を見分け、用途に応じて選択することができる。</p> <p>○魚、肉、野菜を用いた基礎的な日常食の調理ができる。</p> <p>○安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理ができる。</p> <p>○生活の中の食事の役割について理解する。</p> <p>○中学生に必要な栄養素が分かり、健康によい食習慣について理解する。</p> <p>○中学生の一日に必要な食品の種類と概要が分かり、1日分の献立作成の方法について理解する。</p> <p>○地域の食文化について理解する。</p> <p>○販売方法の特徴や消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。</p>	<p>○健康によい食習慣について考え工夫する。</p> <p>○中学生の1日分の献立を考え工夫する。</p> <p>○消費生活が環境を与える影響について考え工夫し実践する。</p> <p>○生活に必要な物資・サービスの適切な選択や購入、活用ができる。</p>	<p>○食生活に関心を持ち、課題を持って意欲的に活動に取り組む。</p> <p>○日常の食生活をふり返り、自分の食生活に関心を持つ。</p> <p>○地域の食文化について関心を持つ。</p> <p>○身近な消費生活と環境についての課題を考え、解決方法について意欲的に取り組む。</p>

【家庭分野】

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を次のように育成する。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

1) 授業の受け方・きまりについて

- ・授業は集中して受ける。
- ・提出物などの期限や時間を守り、忘れ物のないようにする。
- ・期末テストだけでなく、授業に取り組む姿勢や課題に丁寧に取り組み、期限を守って提出することも評価をつける際に重視する。
- ・話し合いやグループ滑動を行うときは、相手を否定せずにお互いを認め合い、様々な意見を取り入れるようにする。

2) 持ち物

- ・筆記用具
- ・教科書『技術・家庭 家庭分野(開隆堂)』
- ・家庭科ファイル
- ・『新技術・家庭科総合資料(正進社)』

※その他必要な持ち物はその都度生徒に連絡します。

3) 定期テストについて

- ・テストの内容としては、主に授業で行ったワークシートやプリント、教科書を中心として出題します。授業中に大切なことを伝えますので、しっかりと聞き、チェックをしておきましょう。
- ・家庭科ファイルには、今までやってきた課題、授業で使ったワークシートやプリントを全てとじてください。あとで習ったことを復習したり、テスト前に振り返ることができます。

・家庭科ファイルは定期テスト後に回収しチェックします。プリントがすべてあるか普段から確認してください。

4) その他

・授業で渡したプリントやワークシート、課題は絶対になくさないようにしましょう。万が一なくしてしまった場合は、もう一度渡すことはできますが、渡したプリントの隅に「再〇(〇の中には渡した回数が入ります)」と記されています。例：2回なくして3枚目をもらう→「再2」

5) 学習内容

【第3学年・家庭分野】 17. 5時間

時間	学習のねらい	単元名・題材名	学習活動・学習内容	チェック
9	家族・家庭と子どもの成長	1 幼児の生活と遊び	① 幼児期ってどんな時代？ ② 幼児の心・体の発達 ③ 幼児のおやつ作り ④ 子どもの成長と家族の役割 ⑤ 子どもの成長と地域 ⑥ 幼児の遊びと発達 ⑦ 幼児の遊びを支える ⑧ 幼児と遊ぶおもちゃづくり	
6		2 幼児とのふれ合い	①ふれ合い体験の前に ②ふれ合い体験をする ③ふれ合い体験を繰り返る	
2		3 これからのわたしと家族	①中学生と家族とのかかわり ②これからのわたしと家族	
1.5		3 年間のまとめ	3年間のまとめ	

※本年度「幼児・赤ちゃん触れ合い体験」は、11月頃を予定しています。

【観点別評価】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性等
○幼児の遊び道具製作等ができる。 ○家族関係をよりよくする方法を考え、実践することができる。 ○幼児の遊びの意義や心身の発達の概要、幼児を支える家族の役割、基本的な生活習慣の重要性について理解する。	○幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び方について考え工夫する。 ○生活の自立や家族とともに家庭生活を工夫し創造する。 ○幼児の心身の発達などを踏まえた上で、幼児とのよりよい関わり方について考え工夫する。	○自分の成長と家族・家庭生活とのかかわりについて、関心をもつ。 ○幼児に関心を持ち、幼児の遊び道具製作等に意欲的に取り組む。

○家族生活が地域の人々とのつながりの中で成り立つことを理解する。